

稚内YEG  
事業報告

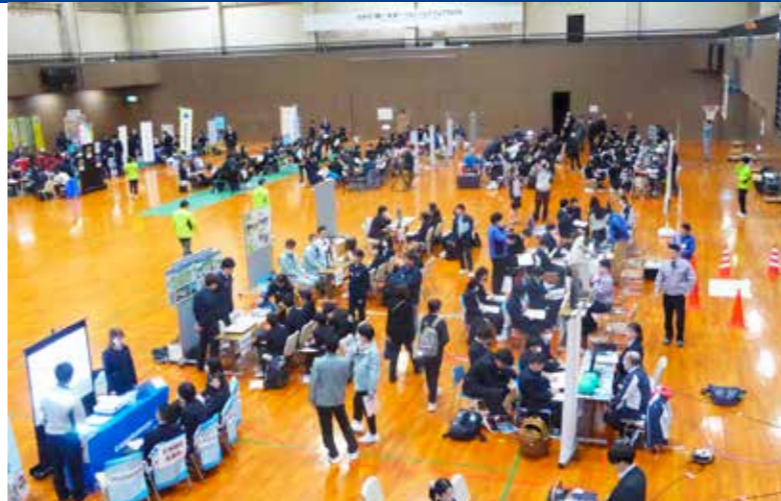
# 地域のかで未来を創る 早期のキャリア教育で 地元企業への興味を喚起

日本最北の地、北海道稚内市。このまちも、人口減少と若者の流出という深刻な地域課題に直面している。稚内市商工会議所青年部（以下、稚内YEG）では、未来を担う地元の中学生に焦点を当てた独自のキャリア教育事業「わかる！働く！未来へつなぐジョブフェア」を展開。この取り組みは、単なる職業体験にとどまらず、早い段階から地元産業への関心を引き出すのが狙いだ。将来的に地元就職やUターンを促進することで、地域の持続的な繁栄を目指す。

## 官民連携で中学1年生に「仕事」の価値を伝える

稚内市ではこれまで、中学2、3年生や高校生に向けた就職活動支援やインターンシップ、または小学生向けの職業体験の機会を提供してきた。しかし、中学1年生に対しては、「仕事」や「地元企業」に対する意識付けを行うための企画が手薄であった。稚内YEGは、以前から人口流出により地域の過疎化が進む現状に対して強い危機感を抱いており、より早い時期からのキャリア教育が必要ではないかと感じていた。

2018年にスタートしたジョブフェア



官民連携事業として、毎年ジョブフェアを開催する稚内YEGメンバー

この課題意識は稚内市や稚内市教育委員会にも共有され、稚内YEGの「参加した生徒たちは、会場内に設けられた企業のブースを巡って熱心にメモを取ったり、積極的に質問を投げかけたりしていました。この経験は、地元企業の多様な職業を理解し、自分たちのまちの産業がどのように成り立っているかを学ぶいい機会になったと思います」と振り返る稚内YEGのメンバーは、生徒たちにとって発見の場になっていることを実感している。

## 地域への貢献と 確かな成果を糧に

本事業は、地域課題解決の一助となる確かな成果を上げている。第1回（18年度）のジョブフェアに参加した中学生の中には、このイベントをきっかけに地元就職の意識が芽生え、23年に地元の企業に就職した事例が生まれた。また、高校卒業後の地元への就職希望者が増加傾向にあるなど、長期的な効果も表れ始めている。

この事業の成功は、単に就職率を上げるだけでなく、稚内というまちで働くことの魅力を認識させ、地域への愛着「シビックプライド」を醸成

Gの今までにない中学1年生を対象にした発想に、行政も全面的に賛同。そこで、2018年に「わかる！働く！未来へつなぐジョブフェア」を開催した。知っているようで知らない仕事を紹介する「中学生向けの地元企業PRフェア」が始動した。

「この事業の特筆すべき点は、稚内市、稚内市教育委員会との官民連携事業として始動したこと。稚内市中企業、経済団体、金融、学校、行政が連携する『オール稚内』の強固な連携こそが、事業の継続性と、後に結果を生む最大の要因だと思えます」と稚内YEG会長の中山亮さんは語る。

## 地元企業と未来の担い手が 交流する場所

ジョブフェアの取り組みは年を追うごとに拡大していき、25年度は、11月7日に稚内市総合体育館で開催され、市内6校から約230人もの中学1年生が参加した。開会式には稚内市の工藤広市長から、「このまちでは、多くの企業がさまざまな分野で地域の身近な暮らしを支えています。担当者から直接話を聞いて、将来は稚内で働くこと、また稚内でできることに目を向けて、まちを元気にする一役買ってくれることを期待しています」とのメッセージが、生徒たちに伝えられた。



興味のある企業の話真剣に聞く生徒



生徒たちに仕事内容を説明する参加企業

事業へと成長を遂げている。

YEGが持つ柔軟な発想と行動力、行政が持つ広範なネットワークと予算、そして教育委員会が持つ生徒へのアクセスが融合することで、単独では実現不可能な規模と質の高い教育現場を提供できた。

「これからも『地域を支えるのは自分たちだ』という強い自覚を持ち、ジョブフェアを継続していきます」と語る中山さんたち稚内YEGの取り組みは、少子高齢化・過疎化に悩む全国の地域にとって、地元を愛する心を育み、経済循環の礎を築くための有力なモデルケースとなるだろう。

**稚内YEG**  
会長・中山亮  
会員数・65人  
創立・2016年  
スローガン「えん」（縁・円・宴）

HPIはこちら



**編集後記**  
村上和洋（郡山YEG）  
稚内YEGの「わかる！働く！未来へつなぐジョブフェア」は、その事業名に、地域が抱える課題への強い危機感を持ちながら、しかし前向きな姿勢で明るい希望が込められていると感じました。中学1年という早い段階から地元企業を「見える化」する発想は、若者の流出を防ぐための根本的な解決策です。この継続的な取り組みが、未来の稚内を支える生徒たちの羅針盤となることを心より願っています。